

横山幸次

区政報告
ニュース

551

2014年9月21日
発行 日本共産党区議団
3802-4627
fax3806-9246
✉ arajcp@tcn-cat
v.ne.jp
町屋相談室
荒川区町屋5-3-5
3895-0504
✉ yoko1951@aol.jp

横山幸次区議のホームページ・ブログ・ツイッターをご覧ください。横山幸次で検索して下さい。



四峡小、七峡小などで「放課後総合プラン」実施へ

「保育に欠ける児童」の生活の場 学童クラブは維持すべきです

来年度から子ども子育て支援新制度が実施予定。荒川区は、学童保育クラブと全児童放課後対策の「ここにこすくー」を合体させる「総合プラン」事業を検討しています。
放課後総合プランでは、学童クラブは、開所時間を7時までに延長（朝は変更なし）。学童クラブの負担は、保育料4000円とおやつ代1500円。6時以降利用は、月10000円を予定。
ここにこすくーは、5時まで（既実施は6時まで）。

来年度、四峡小、七峡小、二瑞小で実施し、さらに広げることが計画されています。保護者からは、勤務時間も長くなり、学童保育の時間延長の要望が出されています。計画では「総合プラン」導入の3校だけ夕方7時まで延長。他の学童クラブは、延長無しとなります。

「経費削減」目的で学童クラブと「ここにこすくー」を一体化し学童クラブを解消する意見が議会の与党会派から出ています。しかし保育に欠ける児童の生活の場である学童クラブは維持すべきです。
また来年度から学童クラブは、法律で対象が6年生までとなります。特に4年生は、継続希望者が約4割に上っているようです。区では、全クラブではなく、拠点クラブを決めて受け入れるとしています。しかし本来各クラブの拡充で対応すべきです。「財政効率で安上がり」ではなく、子ども達に最善の環境を...



上が四峡・下は七峡の学童クラブ。「ここにこすくー」と一体運営で部屋の使い方などどうなるのか？

タブレットPC全員配備が「区の子どもの貧困対策」(区長)？

9月区議会で共産党区議団は、子ども貧困対策として子育て世代の経済的支援、教育、子育ての負担軽減など求めて質問。しかし区長は、「子どもの貧困対策としてタブレットPCを配備」していると答弁。では、なぜタブレットが貧困対策なのかまともな論証は聞こえてきません。タブレットの教育効果の検証もなまの實施したので言えないのか？では、どこにお金を使うべきか？母子家庭への支援や少人数学級、義務教育の公費負担拡大、給付制奨学金など



課題は山積みです。もっと子どもに目を向けて欲しいものです。

裏面 町屋地域のまちづくりの課題...など

定例法律相談会

10月6日(月)
午後6時～8時
横山区議事務所

弁護士と横山区議が相談をお受けします。秘密は厳守します。お急ぎの場合は、北千住法律事務所の相談日などご紹介いたします。
生活相談は、随時受け付けています。
TEL&FAX 3895-0504
不在時は、留守電へ、後で連絡します。
区役所控室 3802-4627

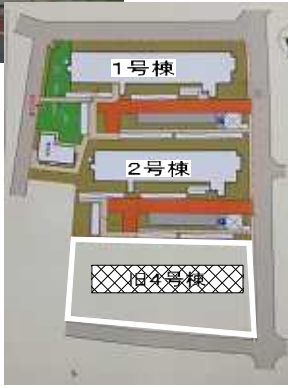


まちの話題あれこれ
もう16回になりますか。尾久の原公園そばの町屋5丁目「ツインシティー」が建設された後、新しいまちのフェスタとして住民のみなさんの大変な努力で取り生まれ、いまでは、荒川区全体の一大イベントとして認知されるまでになっています。昨年は、台風の直撃で中止せざるを得なくなりましたが、今年



ツインシティーフェスタは青空の下大盛況...
まちなの大イベントとして定着しましたね
は、抜けるような青空の下開催され、多くのみなさんが訪れていました。住民のみなさんの自主的な力強い取り組みが「住民自治」の基本のような気がします。同時に、一貫した「地球にやさしいエコ祭」の祭名がいいですね。
横山幸次

町屋地域も徐々に「まち」が変化 住民の声で福祉と防災のまちづくりを！



町屋8丁目都営住宅の
旧4号棟跡地がどうなる...

町屋8丁目都営住宅が完成。今後、旧4号棟（上）の解体（来年）と跡地（白枠内）の活用が大きな課題になってきます。住民のみなさんから公園や医療機関などの声も出ています。まだ東京都や荒川区の意向は、はっきり出ていません。やはり住民の声をよく聞いて具体化するべきです。



町屋地域の保育環境はどうなる
町屋1、8丁目地域を中心に旧町屋ひろば館（上）解体と周辺の子育て支援施設の再編成など実施に移されます。私立幼稚園が現町屋保育園（下右）に跡地に一園誘致、そして町屋ふれあい館側（下左）に町屋保育園が移転（民営民設）に。旧町屋ひろば館は解体し公園拡張に使うとしています。しかしふれあい館での児童事業は手狭。子ども達がのびのび出来る居場所確保・拡充が必要



隅田川堤防耐震化工事実施へ



道路の拡幅も必要ですが建物耐震化も重点



荒川区最大の課題…木造密集地域の改善など防災対策
震災対策は、待ったなしです。町屋2、3、4丁目は、不燃化特区に指定されていますが、道路の拡幅が中心です。同時に、建物耐震化・地域コミュニティを生かした防災まちづくり、通電火災防止、深井戸設置など思い切った対策が急がれます。

今年10月から来年10月まで町屋7丁目の尾竹橋公園から下流へ約500m間に工事に入ります。みなさんのご意見をのべてください！

紙おむつ支給は200枚か現金8,000円の支給ですが、6000円のオムツ券で一部負担が導入、実質5,700円、今年10月から課税世帯3,000円に半減です。

一人暮らし高齢者入浴券支給

	百一才以上	百才	白寿	米寿	喜寿
南千住	10	18	12	165	356
荒川	11	4	6	127	291
町屋	12	5	10	126	316
東尾久	7	2	7	112	220
西尾久	9	1	11	106	259
日暮里	14	13	15	194	399
合計	63	43	61	830	1841

荒川区では65才〜74才の方が25,097人、75才以上の方が22,895人（9月1日現在）となり、高齢化率は23%です。今年も敬老の日を迎え、75才以上の方々を対象にした慶祝の会や、喜寿などの節目のお祝いの贈呈などが行われました。

同時に、荒川区の福祉や介護の充実を贈り物として届けたいものです。振り返ると、ひろば館の入浴サービス・家賃補助・在宅介護者1万円ギフト券支給・心身障害者福祉手当の65才からの新規受付などは、介護保険制度開始で廃止されました。

共産党区議団は、質問で、高齢者の暮らし介護の立場で福祉施策の充実、復活を求めましたが、区長は「特養を増やした…」などと実績を述べただけで、こうした願いにこたえることはありませんでした。

引き続きみなさんの声をまっすぐ届けて区民の願い実現に力を尽くします。

敬老の日を迎えて思うこと...
あなたも安心できる老後を過ごすために

荒川区立高齢者住宅 空き室募集

申込期間 9月25～26日（金）
午前9時～午後5時まで
申込場所 区役所3階
304会議室
年間登録 単身用15人
世帯用5世帯

登録有効期間は11月6日から2015年11月5日までの1年間です。

- さくらハイツ南千住（南千住2丁目）
- さくらハイツ町屋（町屋7丁目）
- さくらハイツ小台（西尾久3丁目）
- さくらハイツ西尾久（西尾久7丁目）
- 町屋5丁目住宅（町屋5丁目）

問合せ：福祉推進課3802 3111
内線2615

